

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【公開番号】特開2005-119993(P2005-119993A)

【公開日】平成17年5月12日(2005.5.12)

【年通号数】公開・登録公報2005-018

【出願番号】特願2003-354808(P2003-354808)

【国際特許分類】

A 6 1 K 36/48 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/96 (2006.01)

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/78 J

A 6 1 P 17/00

A 6 1 K 7/00 K

A 6 1 K 7/48

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

[抽出処理]

処理A) 甘草100kgに水1200リットルを加え、ステンレス容器に入れ、95にて2時間加熱し、619Gで2時間の遠心分離を行なって固液分離し、分取した液を300メッシュのステンレス製振動篩でろ過して透明性液体を得た。

処理B) 得られたろ液1000リットルを減圧濃縮して100リットルとし、これに活性炭(日本エンバイロケミカルズ社製：粒状白鷺KL)2.7kgを加えて、混和後に100メッシュのステンレス製振動篩でろ過した。

処理C) 処理Bのろ過処理で分取したろ液100Lを、減圧濃縮して2Lに濃縮し、さらに13000Gで20分の遠心分離により、活性炭除去と減圧濃縮によって水分40%含有のエキスを作成した。

ここまで処理A～Cを行なうに際して、処理Bが一回のみで得られたエキスをB₁とした。B₁に水を加え1000リットルとした後、Bの操作を12回繰り返して得られたエキスをB₁₂とした。

処理D) B₁₂の120gに水を加えて3リットルとし、これに活性炭(和光純薬社製：活性炭素粉末)300gを加えて攪拌すると共に、750グラムのタルク(丸石製薬社製)を加えて更に攪拌した後、濾紙にて濾過し、得られた濾液を95以下に加熱してタル状の濃縮エキスB_{12c}を得た。